

野木小学校
同窓会報
第 33 号
令和 5 年 3 月
野木小学校同窓会編集部



ご挨拶

第61回卒（昭和45年）
同窓会会長（堤） 宮川 孝 三

野木地区民の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃より野木小学校同窓会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会報につきましては昭和六十年より今年度三十三号発行することになりました。長年、発行を続けることが出来ましたが、ご多忙の中、早く寄稿を引き受けて下さいました会員の皆様方、旧職員の皆様のおかげであると深く感謝しております。

今年もコロナの感染拡大の影響で今も各種行事やイベントの自粛、縮小が相次いでいます。そしてロシア

によるウクライナへの軍事侵攻、円安などにより生活用品価格の値上げなど我々庶民も影響を受けております。

また近年、毎年のように線状降水帯がもたらした集中豪雨によって各地で甚大な被害が発生しております。

そのような中、皆さんに勇氣と感動を与え心よりのエールを送り励ましたい、との思いを込めて「野木地区民総合体育大会・小学生

の部」が開催されました。一杯、練習に励んできたその成果を存分に発揮して最後まで諦めずに全力を尽くして頑張っていた姿はとても誇らしく、互いに協力しあう姿を見ることができ、大変うれしく思いました。

これからも同窓会として会員相互の融和と協調をはかり、母校のために何をなすべきか考えながら活動を進めていきたいと思っております。

最後に、皆様方の益々の活躍とご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。



ご挨拶

野木小学校校長 二宅 勝

同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に深い御理解と多大なる御支援を賜っておりますことを、心より厚くお礼申し上げます。私は今年度より、野木小学校に赴任しました。純朴

な子供たちに元気をもらいながら充実した毎日を過ごさせていただくことに感謝すると同時に、歴史と伝統を誇る野木小学校に奉職することに責任の重さを感じております。子供たちが誇りに思い、また地域にとつても抛り所となる学校になるよう、本校教育の充実を図り、「笑顔があふれ 安心安全で 地域に愛される」学校づくりに邁進する所存

でございます。

さて、昨年三月末に同窓会長および校長あてに、舞鶴市在住で本校を昭和四十

一年に卒業された北浦弘治さん（杉山出身）からお手紙をいただきました。御本人のお許しを得た上で、この場をお借りして一部抜粋して紹介させていただきます。

（前略）

県外に住む私どもに対してもこのような年代になりました。同窓会報を毎年毎年送っていただいておりますこと、本当に嬉しく思います。

今回は私の同級生である清水俊彦君のすてきな内容の文章と懐かしい集合写真まで載せていただきました。卒業してもう五十六年も経ちますが、当時の仲のよかつた三十六人の仲間たち、そして担任の寛先生のことをよく思い出しております。

（中略）

地域のつながり、支えがあつてこそ成り立つものと思つております。その上さらに同窓生が遠くから見守つていくもの、いやお互いに私ら同窓生たちも温かく見守られ、心の支えになつていくものでもあります。この同窓会報が、在学生と同窓生をつなぐ大きなパイプの役割を果たしていると思います。

(後略)

紙面の関係上、便箋五枚にもわたるお手紙の一部しか御紹介できないのが残念ですが、ふるさとを離れた地でも野木のことを心の片隅に抱き、この同窓会報で小学校時代を懐かしく思い出していただいていることを嬉しく思いました。

今後ともこの年一回発行の同窓会報が、少しでも同窓生の皆様方の心のオアシスとなつてくれることを願つて止みません。

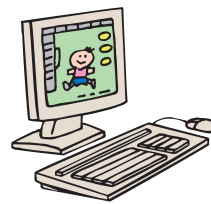
本校では、今年度よりウェブサイトを更新し、いつ

でも過去の同窓会報や学校だより等を閲覧したり、野木小学校の子供たちの元気な声やオペラ歌手による独唱で校歌を聴いたりできるようにしました。また、学校の活動の様子はフェイスブックから御覧になることができますので、ぜひアク

旧職員からの便り

歌つてたのしい野木の里

(平成27年度〜28年度)



セスしてみてください。最後にになりましたが、会員の皆様の御健勝と同窓会の益々の発展を祈念申し上げます。御挨拶といたします。

檜 鼻 幹 雄

「なんて明るい校歌なんだろう」

赴任した四月、野木小学校の子どもたちの歌声を聴いて思ったことです。

野木小学校に赴任したのは平成二十七年でした。野木小

学校のホームページをフェースブックのページに変更したのは、その年の五月だったように思います。同窓会誌の寄稿を依頼され、久しぶりに野

木小学校のホームページを当

ンダに全校児童と職員が一同に並び、快晴の中、撮影に臨みました。

あの時の動画は、ユーチューブにアップしていただいたので、いまでも閲覧することができますかしらと検索してみました。ありました、ありました。

笑顔で手を振る子どもたち。野木小学校と野木地区の全景が空撮されているとても素敵な動画ですので、是非、ご覧いただけたらと思います。ユーチューブで、「野木小学校」と検索すると閲覧できます。

校歌のように明るく、昔ながらの日本の学校の良さを残す野木小学校と野木地区。文字通り地域と共にある学校だと思えます。二年間ではありましたが、働かせていただいたことに、今でも感謝しています。ありがとうございます。

野木小学校を巣立った子どもたちが、大人になってからも野木地区で活躍してくれることを心より願っています。

平成二十八年の六月、入学式や卒業式の写真撮影をお願いしている方から、ドローンで野木小学校や野木地区を空撮してあげるよという有難いお話をいただき、校舎のペラ



旧職員からの便り

人とのつながりは、人生の心の支え

(平成23年度〜28年度)

岩本 真紀

教員という仕事は、自分の希望に関係なく異動を命じられることがよくあります。私も、勤続年数は最長七年と決まっているのですが、七年勤続したことはなく、三、四年で子どもたちと涙の離任式を迎えることがほとんどでした。

しかし野木小学校では、一番長い六年間！たくさんの充実した日々を過ごすことができ、幸せな思い出をたくさん作ることができました。今でも六年間でご縁があった子どもたちの様子を、目の当たりにしたりお話を聞かせてもらったりすると、我が子のよう

に、その成長ぶりが嬉しく、あの頃と同じように幸せな気持ちになります。

一緒に汗を流した畑や田ん

ぼづくり。地域探検で野木地区の端から端まで歩き、おいしいパン作りもさせてもらいました。敬老会ではおじいちゃんおばあちゃんたちと伝統遊びやランドゴルフを共に興じ、地域の温かさと深い繋がりに触れました。音楽発表会では懸命に練習する子どもたちの熱意がいつぱいの、素晴らしい演奏を共に創り上げることができました。

どの学年の時にもお届けしていた学年だよりを見ていると、毎日の些細な気づきや笑顔の積み重ねが、幸せな日々を作り、今の私の教師人生の大きな糧となっています。

この頃の私の仕事に対する姿を見て、私の息子も「教師になりたい」と決意し、来年度から教師人生を歩み始める

ことになりそうです。そんなふうに関わってくれた野木地区の子どもたちをはじめ皆様には、現在の私の人生までも彩ってくれていること、感謝の気持ちでいっぱいです。

もう野木地区を離れ六年になります。またご縁があれば、野木小に着任したいな。野木地区の子どもたちや保護者の皆様とお会いしたいな。その夢が叶うことを願いつつ、野木地区の皆様益々の発展を祈願しております。また私の思いを伝えるチャンスを与えてくださった「野木小同窓会報 編集委員」の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



← 2年目 2年生秋の遠足



↑ 6年目 2年生と修了式



← 4年目 学級目標を前に 卒業直前

会員からの便り

思い出

第59回(昭和43年)卒

杉山 橋本 武利

私が、野木小学校を卒業して半世紀以上がすぎました。

給食は大きな丸いテーブルを囲んで皆一緒に食べます。

時代は変わっても野木小学校は、そこにあり、子供達が元気に通っている姿を見られる事が嬉しい限りです。

本校へ行くのは、入学式や卒業式、それに運動会等行事のある時です。徒歩での本校までは遠くて行くのが嫌だと思つた事もありました。

小学校の思い出と言えば、今と違って入学すると、杉山の子は三年生までは堤と杉山の間にあつた堤分教場(分校)へ通います。入学した時は、同級生五人、二年二人、三年生五人だつたとおもいます。

授業は複式学級で先生は福田先生1人です。武生から自転車で通われていました。やさしい先生だったのでしょ

その分校も廃校になり使われなくなつてからでも長い間、校舎は残つていましたが、いまでは取り壊され入口にシンボルのように立っていた銀杏の木も無くなりました。

か、大きい声で叱られた記憶がありません。給食は村岡さんが作つて下さっていました。いつもニコニコやさしいおは

時代の流れだと解つていて

も、やっぱり寂しいものです。この自然豊かな野木の地で、地域の人達に支えられ過ごすことが出来た幸せを感じています。

これからも子供達が、地域との繋がりを大切に、のびのびと育つて行つてほしいと願つていきます。



会員からの便り

楽しくサイクリング

第69回(昭和53年)卒

兼田 藤田 品久

野木小学校を卒業してかれこれ四十五年目になります。同級生は十五人と少ない年でしたが、楽しい思い出は沢山あります。現在、兼田の実家には両親がいますが、勤めが大阪のため兼田には住んでいませんが、たまに帰ると同級生達に仲良くしていただいています。

業後は、いろんな所にバラバラになつてしまいましたが、私は当時の若狭農林高等学校に進学し、卒業後は建設省、現在の国土交通省に就職しました。職場は福井県を含む近畿一円となつてい

ことから、転勤が多く、滋賀県大津市と小浜市にある職場に勤務していた時は、実家に戻り兼田から通勤をしていました。そんなこともあり、兼田の皆さん

小学校を卒業後は、全員が上中中学校に進学し、中学卒

にも仲良くしていただいています。

現在の趣味の一つにサイクリングがあります。その始まりは、今から十五年前に和歌山県田辺市にある職場に勤務していた時、当時の同僚からサイクリングに誘われ、紀伊半島を自転車一周しました。

かなりしんどかつたことを覚えていますが、その時からサイクリングを楽しむ事が好きになり、今は休日に仕事等がなければ自転車に乗っています。

サイクリングの楽しみ方はいろいろありますが、数年前から若狭地方で毎年開催されている「若狭センチュリーライド」にも、三回参加させていただき、故郷のコースを仲間たちと走らせていただきました。近年、サイクリングをする方が増えてきているとともに、自転車走りやすい道の整備もあちこちで進められています。その中でもナショナルサイクルルートとなっている「しまなみ海道」や「ピワイチ」は、初めての方でも

安心してサイクリングが楽しめるルートとなっています。

ここ最近、私の周りに急に自転車仲間が増えてきており、職場メンバーでのグループライドや自転車屋さんのイベント等に参加し、いろんな所を自転車で走っています。関西地方には「アワイチ(淡路島一周)」「タンイチ(丹後半島一周)」「マメイチ(小豆島一周)」など、一周出来るコースなどが沢山あります。そんな素敵なコースを紹介したいと思い、FacebookやInstagramに投稿をしていますので、お時間のある方は覗いてみて下さい。どちらも「AKIHISA Fujita」で検索いただければヒットすると思います。

今後、いつまで自転車に乗れるかはわかりませんが、まだまだ走りに行きたい場所やチャレンジしてみたい事が沢山ありますので、お付き合い頂ける方はお声がけください。

← 2019年5月26日 若狭センチュリーライド

↓ 2022年6月18日 職場仲間でのピワイチ 右端の緑のジャージが藤田です。



会員からの便り

T先生の必殺技

第78回(昭和62年)卒

玉置 塚本 真也

私は小学校で過ごした時間が人生で最も記憶に残っています。恐らく、学校生活から遊びまで一生懸命だったからだと思います。そんな記憶に残る六年間の思い出話はT先生を抜きにしては語れません。

四年生の担任の先生は優しくだったので、六年生には悪いが学園天国そのものだった。しかし、その学園天国にT先生が侵犯する日がやってきた。

同級生二十三人とも、印象に残る先生は誰かと問えば、誰もが口をそろえてT先生と答えるでしょう。それほど強烈な思い出を残してくれたT先生のことを私の記憶とともに紹介します。(以下、無礼講でお願ひします)

先生が不在の自習の時間：少し悪ふざけ過ぎたのか、数人が一人を廊下に追いやって騒いでいた。そのとき、運悪くT先生が通りかかってしまったのだ。すぐさま「誰がやったんだ」と詰め寄られ、二人(記憶ではU野とK田)が名乗り出たその瞬間にBが炸裂した。えっ?何が起きたのか理解するのに数秒：我々にとつてのBデビューはかなり壮絶でした。それから数か月後の五年生になろうかという頃、確かな情報だったので誰か(記憶ではT中)が「担任はTやつて〜」と言

六年生の担任として赴任して来られた。とにかく悪さしようものなら男女問わず必殺技(以下「B」にする)で肅清される。そのBに六年生でも震え上がっていたものだ。我々

放つたら、皆一斉に「エー?」という悲鳴が教室にこだました。初めてクラスが一つになったような：それくらい息が合っていたのを覚えている。T先生は、とにかく自分の考えを発表させ、異なる意見を出し合つての討論会が大好きだった。まさにピートだけのT V タックルそのものがある。また、子どもには聞き慣れない「連帯責任」という言葉も教えてもらった。見て見ぬふりをした者も責任を負わされるという便利な制度で、毎回大勢のものがBにより肅清された。さらに、大人だけにあるものではないと子ども達の忘年会まで実行して一緒になつて騒いだこともあった。



そんな異端児のような手法で野木の二十三人を鍛え続け、我々を待っていたかのように卒業と同時に転任されていた。

「先生こと高橋正和先生、二年間という限られた時間でしたが、表現の自由、継続は力なり、型破りな生き方など学校で習わないことを多く教えてもらいました。過去の同窓会報に記されていた最後に野木を去る車の中で涙されたことが思い出されます。いつも二十三人と正面から向き合い、全身全霊で尽くされたこ

会員からの便り

挑戦する楽しさ

第100回(平成21年)卒

下野木 倉谷 権哉

野木小学校の思い出を振り返るために、担任だった中村先生が作ってくれた写真データをみていました。写真をみてまず思ったことは、「みんな

なで色々なことに挑戦している」と思いました。田んぼでの米作りや、かみなか農楽舎で竹の炭作り、今ではなかなかできないことに挑戦してき



昭和61年度 野木小学校 卒業記念 昭和62年3月19日

とに感謝の言葉もありません。またお会いできる機会があれば、ぜひ当手を懐かしみながらBを頂戴したいものです。(嘘です)

たと思います。また、僕たちは第百回卒ということで野木をコースにした駅伝大会を開催してみんなで襷をつないで走り切りました。僕はこの駅伝大会が初めての駅伝になったのでとても思い出に残っています。

僕は、高校と大学で陸上部に所属して長距離を走っていました。今も、上中の駅伝チームに所属して走っています。長距離を走るのが好きになったのは、小学校の陸上大会からです。陸上大会は何かの種目に出場しないといけないのですが、僕はどの種目に出ようかとても悩んでいました。

陸上大会に向けた練習がある日に、中村先生に長距離の練習に誘われたので長距離に挑戦することにしました。初めは体力が無くとても遅かったのですが、大会当日は自己ベストタイムより30秒も早く走ることができました。とても辛かったけど、とても楽しいと同時に思いました。これが僕の長距離選手になるきっかけだったと僕は思



っています。高校と大学では、様々な駅伝やマラソン大会に挑戦しました。特に大学では、みんながなかなかできないことに挑戦したいと思い「100m30」のウルトラマラソンに挑戦しました。コースが白川郷をスタートして白山ホワイトロードを走って石川県の競技場まででした。最初は山登りで、後半は天気が崩れて大雨警報が出ている中、走っていました。大雨の時は心が折れそうなくらい辛かったのですが、無事に12時間19分で完走することができました。ゴールテープを切ったときは、とても嬉

しかったですし、とても楽しかったです。挑戦して本当に良かったと思います。挑戦することの楽しさは、野木小学校の時にたくさん身についたと思います。今、野木小学校に通っている子供たちにもたくさん挑戦をしてもらいたいと思っています。僕たちもタイムカプセルを掘り出すという挑戦が残っている中で、みんながタイムカプセルを埋めた場所の記憶を思い出して、掘り出したいです。そして、みんなが小学校時代の思い出を、お酒を飲みながら話したいです。

新成人からの便り

大切な思い出と感謝の気持ち

第106回(平成27年)卒

兼田 東山 結香

私が、野木小学校を卒業してから八年もの月日が経ちました。私が小学生だった頃を振り返ると、家族や友達、先生などたくさんの方々に支えられてきたのだと感じます。

スメイトから離れ一人で先輩たちと合奏することはとても不安でした。しかし、合奏の前には「頑張れ」と声をかけてくれたクラスメイトのおかげで無事に伴奏ができ、合奏後には「お疲れ様」「よかったよ」などと声をかけてくれたことがとても嬉しく、心が温かくなったのをよく覚えています。クラスメイトは十三人と少ないですが、団結力があり何事にも全力で取り組めるメンバーと過ごせた六年間は私の誇りです。現在は就職したり進学したりして、みなそれぞれ場所で頑張っています。今でも連絡を取り合ったり気軽に話せたりできる関係が続いていることがとても嬉しいです。

残っているのは、私が小学五年生の頃の入学式です。毎年入学式では、六年生が合奏を行うのですが当時の六年生に伴奏者がいなかったため、ピアノを習っていた私が伴奏を行うことになりました。私はピアノを習っていましたが、得意だった訳でもなく、クラ

私は現在、地元を離れ県外の

の大学に通っています。毎日とても充実しておりとても楽しいですが、地元の温かさを思い出し恋しくなる時があります。そして、帰省した時には地元の温かさを感じ、たくさんの方々を支えられていたのだと改めて感じます。大学では小学校の教師になるために勉強しているのですが、勉強すればするほど教師の大変さや責任の大きさを感じます。毎日の授業にもたくさんの方々がサポートしていただくことに感謝していました。もうすぐ、野木小学校で教育実習をさせて頂く予定です。楽しみだと思いつつも不安もあります。私がいままで周りの方々に支えられてきたように、優しさや温かさを胸に、児童一人ひとりに向き合うことのできる教師になれるよう頑張りたいと思います。



児童作文

一年生

おいもがいっぱい

あすまよじなり

学校のはたけで、さつまいもほり
をしました。まえのひに、つるがえ
しとくさとりをしました。くさとつ
るがたくさんあって、たいへんでし
た。でも、おいもほりがたのしみに
なりました。

せいかつのじかんに、おかあさん
といっしょにほりました。

「がんばってな」

とおかあさんがいってくれたので、
ほくも「がんばるぞ」というきもち
になりました。おいもをほっていく
と、一つのつるに、おいもがいっぱ
いぐっついていました。ほくも、

「たくさんあるなあ」

といいました。手で、つちをほった
けど、なかなかでてきませんでした。
おかあさんも、

「まだやなあ」

といっぺりくりしてました。が
んばってほっていくと、やっとおい
もがでてきました。ほくはうれしく
て、「やったあ」とおもいました。
ほくは、やきいもが大すぎなので、
はやくたべたいです。



がんばったたいくたいかい
くぼたひいろ

たいくたいかいがありました。
大だまころがしでは、ペアの六ねん
せい、

「こつちからころがすといひ」

とおしえてくれたので、じょうずに
ころがすことができました。リレー
では、おとうさんが

「がんばれ」

とおうえんしてくれたので、がんば
ってさいごまではじることができま
した。おやききょうぎでは、おかあ
さんとほりました。くじをひいて
かいてあるかずのボールをほびま
す。おかあさんといっしょに、ボー
ルをほこんで、たのしかったです。

おうえんがっせんでは、わたしはコ
ナンになりました。六ねんせいイグ
イズやセリフをおしえてくれました
わたしは、六ねんせい、さいごの
たいくたいかいだから、六ねんせ
いのためにがんばりました。おうえ
んがっせんでは、みんなのころが
一つになつてうれしかったです。

はじめのたいくたいかいは、
とてもたのしかったです。

はっぴょうしたよ

くらたにみあ

ののはなほいくえんにいって、べ
んきよつしたことをはっぴょうしま
した。はじめに、こくごでべんきよ
つした「一ねんせいのうた」という
しを、おんどくしました。あかるい
きもちでよみました。つきに、「くち
ばし」というおはなしでクイズをし

ました。かりんぐみさんが、たくさ
んこたえてくれてうれしかったです
せいかつかぞだてた、あさがおの
たねのプレゼントもしました。かり
んぐみさんに、

「あさがおのたね、たいせつにして
ね」

といっぺりわたしました。そうしたら、
げんきよく、

「うん。ありがとう」

といっぺりくれたので、うれしかった
です。さいごに、えんていで、みん
なでドッジボールとかくれんぼをし
てあそびました。かくれんぼは、す
ぐにみつかってしまったので、おに
ごっこになつてしまいました。でも、
たのしかったです。

かりんぐみさんと、たくさんおほ
なしました。いっしょにどんぐ
りもひろいました。らいねん、かり
んぐみさんがのぎ小学校にゆう学
して、いっしょにべんきよするの
が、たのしみで、わくわくします。

二年生

大きな声であいさつ

はじ本ゆうへい

の木小学校のいいところは、大き
な声であいさつができることです。
いつも大きな声であいさつができて
いいと思います。毎朝大き
な声で、

「おはようびげんげいさつ。」

かえるときも大きな声で、

「さようなら。」

と三つのがいいところです。朝もか

えりも大きな声であいさつすると、
あいさつしてもらう人も、あいさつ
する人も、いい気持ちになります。

校長先生もいつも外に出てくれてい
ます。そして学校の中だけではなく
とつこう中にもあいさつするのとい
いことです。バスこのるとき、

「おねがいします。」

「ありがとうございました。」

を言うことができます。これからも
大きな声であいさつしたいです。

の木小学校にはともだちいっぱい

上のほの

の木小学校には、わたしにやさし
くしてくれる人がたくさんいます。
だから、わたしはの木小学校が大
好きです。

わたしがこまっていたり、じゅぎ
ようがわからなかったときには、と
もだちがやさしく教えてくれるし、
わからなかったところを先生がやさ
しく教えてくれるから、じゅぎよう
があんしんしてうけられて、わたし
はしあわせです。わたしにやさしく
してくれるともだちは、わたしとな
かよくあそんでくれてとってもうれ
しいです。わたしができないことが
あったらともだちが、

「がんばってー」

と三つてくれてとってもやる気が出
ます。だから休みの日も

「学校に行けたらいいのになー」

とこころの中を思っています。おと
なになつても、の木小学校にかよえ
たらいいのになと思っています。

三年生

やさしいおまわりさん

今岡 明日香

登校中、一番さいしょにある歩道に、時々おまわりさんが来てくれます。おまわりさんは、わたしたちに「行ってらっしゃい。」と言ってくれるので、心が温かくなります。その時に、おまわりさんは、赤いぼうでゆうどうしてくれまます。だから、いつも安心して学校へ行くことができます。「おまわりさん、わたしたちを守ってくれてありがとう。」と言いたいです。見守りたいの人は、下校のときに来てくれます。見守りたいの人も、あいさつをしてください。わたしは、見守りたいの人に「おねがいします。」と言いました。すると、「かしこいねえ。」と言われたので、とてもうれしかったです。わたしたちが、安全に登校や下校ができるのは、おまわりさんや見守りたいの人が見守ってくれているからだと思います。これからも、よろしくおねがいします。

きれいにさいてほしい花

倉谷 衣音

今日、フラワー交流がありました。ぼくたちは、パンジーとビオラという花を地いきの方といっしょに植えました。ぼくは、はじめてパンジーとビオラをじっくり見ました。ふだんは、花を植えることがあまりないので、パンジーやビオラを植えることができて、よかったです。ぼくが

花を植えているときに、地いきの方が「土をもっと入れたほうがいいよ。」とやさしく言ってくれました。そのときは、とてもうれしかったです。この花は、地いきのお年よりにプレゼントするので、きれいに育ててほしいと思います。これからお花を植えるときには、地いきの方から教わったことを思い出して、土をもう少し多くしたいです。きれいにさいてくれるといいです。

四年生

岡本 創佑

地いきの人たちと一緒にフラワー交流をしました。最初に集落で集まって自己紹介をしていたら、ぼくはあちやんがいたからびっくりしました。

その後、花を選びました。ぼくは、ビオラとパンジーで赤青黄を選べたのでよかったです。それで、植木鉢に土を入れて、その土をさわってみるとパサパサしていて気持ちよかったです。ぼくは、パンジーの青色を最初に植えたけど、花が折れていたからびっくりしました。ビオラの赤色と黄色は折れてなかったからよかったです。植え終わって地いきの人たちと写真をとりました。

僕はもう来年になったら5年生になるのでフラワー交流をすることはできなくなるけど、今回、とても楽しかったから、またできたらパンジーやビオラなどの同じ花でやりたいです。そして、ぼくは花を育てるこ

とがすきだから、ぼくがいろいろな花を育てているいろいろな地いきの人にあげたいです。

窪田 羽侖

野木地区のふるさとCMを作りました。とても楽しかったです。野木地区のことは、初めはわからなかったけれど、ふるさとCMをやったよくわかりました。

一言神社とお米のCMを作ることになりました。一言神社を調べてみると、いろいろなことがわかりました。びっくりしたのは本殿がないことです。一言神社は山全体が神様だということです。一言神社は、あと、お願いをした時は、石の上に五円玉を置くと、石を持って帰る、ということもわかりました。

CMを撮るときは、最初できるかわからなかったけど、ちゃんとできたのでよかったです。

これからもいろいろな人に野木地区のことを知ってもらいたいです。

五年生

農業って大切

荒木 翼沙

今年も五月に田植えをした。今年で二回目。

私は今年もおいしいお米ができることを願って苗を植えた。あれから四か月が経った。九月に、たごころ農園さんに手伝ってもらって、稲かりをした。四か月でぐっと大きく成長した稲。早くお米になってほしい

と思っていたから、稲かりは楽しかった。私は、去年の経験を生かして、うまく稲をかることができた。

そして、今日、この前収穫したものが、どのようにお米になるのかを、たごころ農園さん

へ見学に行った。去年も見学したけれど、私はわくわくしていた。ドローンを見せてもらえると聞いたからだ。

もみから玄米になるまでの工程を見た後、念願のドローンを見せてもらった。外に出て、田んぼに水を散布する様子を見せてもらった。ドローンは、スマホで操作すること、そして、散布する場所などを入力するだけで、あとは自動でまいたり、帰ってきたりすることを知った。私は、「ドローンって、私よりずっとかしこいんじゃないか。」

と思った。それほど、ドローンは、すごくかしくて、とても便利なものだと分かった。

たごころ農園さんの見学、田植えや稲かりを体験して、私はお米を作るには、時間や手間がたくさんかかり、本当に大変だと感じた。私がふだん食べているものは、どれもたくさんの方の努力があって、私たちは食べる事ができるのだと思った。改めて、農業って大切なのだと感じた。

楽しかった自然教室

滝 翼

まちにまった自然教室。最初にゴムボートに乗りました。ぼくは、前日の日からこのゴムボートに乗ることが楽しみでした。だから、ゴムボ

六年生 独楽吟

トに乗るときは、ワクワクでいっぱいでした。いざゴムボートに乗ってみると、ぼくが思っていたよりずっとむずかしくて、なかなかうまく進みませんでした。みんなで息を合わせてこがないとボートは進んでくれません。こいでいるとね、

「そっち、ちゃんとこいでよ。」

「そっちもやっつこよ。」

と、時々、ぼくたちはケンカしました。ボートをこぐのは、とてもうでがつかれました。そのとき、後ろからブーンと音がしました。見てみると、モーター付きのボートに教頭先生が乗っていて、こつちを見て手をふっていました。ぼくは、

「モーター付き、いいなあ。」

と、とてもうらやましくなりました。ゴムボートで一番大変だったのは、ゴムボートを運ぶことでした。特にボートに乗ったあと、湖から青年の家まで運ぶのは、つかれのせいもあって、とても重く感じました。重くて、重くて、みんなで運んでも落ちてしまいいそいなほどでした。

ゴムボートに乗るのは、意外と大変だったけれど、天気も良く、魚がはねる様子が見られて、乗り終わった後は、達成感を感じました。また、若狭町にはいいところがあるのだと知ることができました。来年は修学旅行があるから、とても楽しみです。



▼ たのしみは

マンガ読んで 笑ったり

最後の場面 感動する時

植野 遥太

▼ たのしみは

夏の船釣り リールまき

大物が見え 釣り上げる時

岡本 風佑

▼ たのしみは

ジグソーパズル はめていき

さいごの一つ 手にとった時

河原 慶至

▼ たのしみは

いとこと卓球 勝負して

九対十一 ぎりぎり勝つ時

倉谷 葵衣

▼ たのしみは

課題終わらせ イラストを

静かな部屋で 描いている時

勢馬 紬希

▼ たのしみは

家でゴロゴロ 静かにし

いろんな音を 聞いている時

竹村 楓華

▼ たのしみは

家に帰って 手を洗い

タブレットひらけ マンガを読む時

田中 志歩

▼ たのしみは

家に帰って 友だちと

わいわいゲーム している時

塚本 心優

▼ たのしみは

物事早く 終わる夜

母のスマホで YouTube見る時

橋本 亜侑

▼ たのしみは

朝起きてから 顔あらい

冷蔵庫から ゼリーをとる時

平田 美空

▼ たのしみは

夏の夜には 花火持ち

パチパチはしく 音を聞く時

福井 愛菜

▼ たのしみは

土日の昼間に バスケをし

ナイスプレーを きめられた時

前田 聡太



今年度の野木小学校の活動

写生



交通安全教室



入学式



自然教室



夏の集会



プール掃除



秋季遠足(1・2年生)



体育大会



稲刈り



学校訪問コンサート



逃走中(体育委員企画)



秋季遠足(3・4・5年生)



★★★ 6年生 思い出のシーン ★★★



修学旅行（奈良公園にて撮影）



親子行事



税金教室

編集後記

同窓会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。大変お待たせいたしました。今年度の母校の様子や同窓会員の近況をお知らせする同窓会報三十三号が出来上がりましたので、お届けいたします。

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、行動制限が徐々になくなっていく一年となりました。そのような状況の中、今年も原稿執筆をお願いした皆様方には、お忙しい中にもかかわらず、快くお引き受けいただきましてありがとうございます。おかげさまで、大変内容のある会報に仕上がりました。心から感謝申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様の益々のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。



福井県三方上中郡若狭町武生十五一七一

野木小学校同窓会事務局

- ホームページ
- facebook
- Eメール

<https://edu.town.wakasa.fukui.jp/nogi/>
<https://www.facebook.com/nogi.elementary>
[nogi-es@edu.town.wakasa.fukui.jp/](mailto:nogi-es@edu.town.wakasa.fukui.jp)